

特集①:ドライバー向け新教育プログラム

安全運転のための感情コントロール



三菱電機ビルテクノサービス(株) 中部支社の新規運転認定者研修の中で実施された「感情コントロール」

ドライバーが安全運転を行うためには、運転中にどのように自分の感情と向き合い、自己コントロールしていくかも重要なポイントになる。今回は、最新の心理学の知見をベースに、その観点から開発されたドライバー向けの新教育プログラム「感情コントロール」に焦点を当て、その理論と教育効果を紹介する。

では、感情コントロールとは具体的にどのようなものなのだろうか？
この研究プロジェクトのリーダーである東北工業大学の小川和久教授は、「一言でいうと、ドライバーが自分の心理特性を把握し、その効果的なコントロールの仕方を自分で発見して、安全な運転行動に結びつけていくための教育」だと説明する。
「ドライバーのイライラや焦り、怒りなどのネガティブな感情は、どうしても危険な運転を誘発し、事故要因の1つとなりま

感情コントロールとは何か

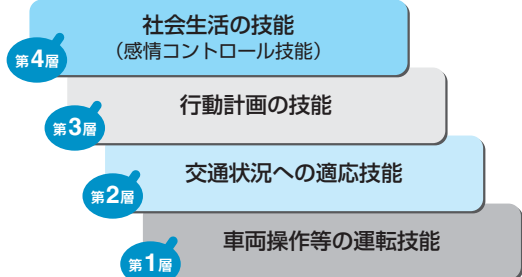
●(財)国際交通安全学会 研究プロジェクト

- リーダー 小川和久
東北工業大学共通教育センター教授
- メンバー 太田博雄
東北工業大学ライフデザイン学部教授
- 向井希宏
中京大学心理学部教授
- 鈴木隆司
本田技研工業(株) 安全運転普及本部
(現・(株)レインボーモータースクール教育課)

クルマの運転では、いくら運転技術が優れていても、運転中のネガティブな感情(焦り・怒り)によって行動が左右され、自ら危険な状況をつくり出し、事故につながってしまうケースがある。「車間距離を十分にとらなければいけない」と頭では理解していても、「割り込んでくるクルマがいると、苛立ってしまい、車間距離を詰めて走る」といった運転行動も見受けられる。「感情コントロール」とは、こうしたネガティブな感情とドライバーが運転時にどう向き合い、どのように自己コントロールして安全運転に結びつけていくかを心理学的に検証し、開発された教育プログラムのこと。(財)国際交通安全学会の研究プロジェクト「ドライバーの感情特性と運転行動への影響」感情コントロールのための教育プログラム開発を目指して」として研究が進められ、今年4月にその研究成果が発表された。

「そこで、この理論をもとに日本でも実践的な感情コントロールの教育プログラムを開発し、幅広く普及させていきたいと考えました。私はこのプロジェクトに先立ち、高校生向けの交通安全教材として、今回のプロトタイプとなる感情コントロールの教育プログラムを開発していましたが、それをベースに、より本格的なドライバー向けのものを構想し、実現に至ったわけです。」

図 運転行動の階層的アプローチ (Keskinen,1996)



しかし近年になって、心理学の分野で理論的な整理がなされ、この問題に踏み込めるようになってきたという。フィンランドの心理学者エスコ・ケスキネン氏が提唱した「運転行動の階層的アプローチ」(左図参照)では、従来の安全運転教育のターゲットであった「車両操作等の運転技能」、「交通状況への適応技能(危険予測など)」、「行動計画の技能(運転計画・安全ルート選択)」などの上位に、それらを支配する「社会生活の技能(感情コントロール技能)」が位置づけられた。そして今後、最上位となる領域「感情コントロール技能」の領域でも教育を推進していく必要があることが、社会的に強く認識されるようになったのである。

「このことは従来から、ヒューマンファクターの研究を通じて指摘されてきましたが、実際、たいいの事故は当事者の注意エラーや交通違反の問題として処理されてきました。その結果、安全運転教育の現場でも、こうした人間の感情に焦点をあてた教育は、これまで存在しなかったのが実情です。」



東北工業大学の小川和久教授



Hondaの交通安全情報紙
The Safety Japan
Since 1971

8*9

2010
AUGUST-SEPTEMBER

●編集室: 本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL 03(5412)1736
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/
●編集人: 千葉英雄
※年間購読をご希望の方は、下記までお問合わせください。
(株)アストクリエティブ 安全運転普及本部係
TEL 03(5439)1191 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

SJ-Netは

CONTENTS

- 特集①:ドライバー向け新教育プログラム
安全運転のための感情コントロール……………①
- 特集②: Hondaドライビングシミュレーター
よりきめ細かく、的確な指導を実現するための機能が充実……………③
- 危険予測トレーニング(KYT)/右折待ちの対向車が出てきた時(二輪車)……………④
- 交通安全指導「知っ得」情報/ライダーを守る「ボディプロテクター」……………④
- SJクイズ……………④
- DOCUMENT EYE (28)/ライダーとパッセンジャーの服装を観察する……………⑤
- 地域の子カラ/福岡県の交通安全活動……………⑥
- 現場訪問/宇都宮市役所……………⑦
- TOPICS ①/交通安全教育プログラム「新あやとりい ひよこ編」……………⑦
- TOPICS ②/ Honda関連企業災害防止協議会・安全運転インストラクター養成研修会……………⑦
- NEWS REVIEW/第43回二輪車安全運転全国大会……………⑦
- 教育最前線/鹿児島総合警備保障(株)・交通安全教室……………⑧
- 読者の声……………⑧

特集②: Honda ドライビングシミュレーター

よりきめ細かく、的確な指導を実現するための機能が充実

Hondaドライビングシミュレーター（以下、シミュレーター）は、Hondaが長年培った安全運転のノウハウを活かし、実際の交通状況を想定しながら危険を安全に体験できる安全運転教育機器として開発。2001年の発売以来、国内外の教習所や研究機関などで活用されている。そして今年3月、このシミュレーターがフルモデルチェンジされた。

新型のシミュレーターには、受講者の危険に対する認知力や理解力をさらに高められるよう、運転中に起こる可能性が高い危険場面での注意点や安全運転のアドバイスを、画像や文字でわかりやすく解説する「危険場面解説機能」などが新たに追加されている。これにより、指導員がよりきめ細かく、的確に指導できるようになった。また、高画質な液晶ディスプレイを採用することで、より実際に近い運転感覚の体験も可能になっている。

今回のモデルチェンジで新たに追加された「危険場面解説機能」



杉妻自動車学校に設置されているHondaドライビングシミュレーター

モデルチェンジによってコンパクト、リーズナブルに



新型のシミュレーターを導入した自動車教習所の1つが杉妻自動車学校（福島県福島市）である。同校代表取締役の高橋覚男さんは導入の背景を次のように語る。

「既に当校では二輪用のホンダライディングシミュレーターを使っていました。その教育ソフトが現場の指導員に好評だったので、四輪用のシミュレーターも導入を検討したのです。しかし、従来の6軸モーションタイプは設置スペースを確保することができず、その時は見送りました。今回のモデルチェンジで6軸に加え、コンパクトな2軸モーションタイプが発売されたので導入を決め、4月から運用しています」。

新たにラインアップされた2軸モーションタイプは価格もリーズナブル。本体価格619万5000円（消費税込み・搬送費別）となっている。

実車と同じ感覚で操作できる

シミュレーター教習を担当している同校二輪教習主任の上田紀好さんは、実車に近い操作性を評価している。

「運転席まわりは実車と同じ造りなので、教習生の方も違和感なく操作できるようです。このシミュレーターになってから、操作に慣れるために練習走行していただく必要がなくなりました。私たち指導員側の操作もタッチパネル式で、メニュー選択などが直感的に行うことができ、とても使いやすいです」。

路上教習では体験できない場面を体験しておく

シミュレーター教習は、限られた路上教習での体験を補い、教習生に実際に道路を走行する時の見方や考え方を伝えることだと、高橋さんと上田さんはとらえている。

「ホンダのシミュレーターは現実に近い交通状況と危険場面が再現されていると思います。路上教習では体験できない場面をシミュレーターの中で体験しておくことは、たいへん有効です」。

事故に至った原因を考へてもう一つのために

シミュレーターにはヒヤリとした場面、事故を起こした場面があった時に、すぐに見せたい視点から再生できる「マルチアイシステム」、新たに追加された「危険場面解説機能」が



メインモニターには高画質42型HD液晶ディスプレイを採用。広い視野角と迫力のある画面で、左右確認も容易にできる

「説明機能」がある（左コラム参照）。

「これらを活用することで

説得力のある指導が出来ます。また、シミュレーター教習は2〜3人



杉妻自動車学校代表取締役・高橋覚男さん（右）と二輪教習主任・上田紀好さん（左）

【危険場面解説機能】

●解説場面

危険場面の要点を解説。受講者が解説を読むことで気づいていない危険を確認することができる。

●アドバイス画面

指導者が説明しやすいように、安全ポイントを具体的に明示。

●事故再生画面

事故の瞬間を動画で再生。安全運転の意識の向上に役立つ。

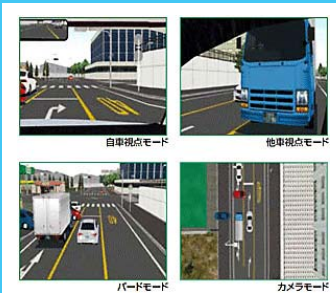
その他、受講者相互で危険を見つけ出すディスカッションに活用できる解説なしの画面もある。



アドバイス画面

【マルチアイシステム（走行再生機能）】

危険に至るプロセスをさまざまな視点からリプレイできる。



Hondaドライビングシミュレーターについての詳細は以下のホームページを参照。

<http://www.honda.co.jp/simulator/driving/>

シミュレーターに関するお問合せ先
本田技研工業（株）安全運転普及本部 教育機器課
TEL 048 (452) 0559

ホンダでは四輪以外にも二輪や自転車のシミュレーター、四輪の簡易型シミュレーターも販売しており、幅広いモビリティの運転者を対象に、危険予測の能力や安全運転意識の向上をはかっている。

「安全運転意識の高いドライバーを育てることが私たちの目的なので、そのために大いにシミュレーターを役立てていきたい」と高橋さんはいう。

「安全運転意識の高いドライバーを育てることが私たちの目的なので、そのために大いにシミュレーターを役立てていきたい」と高橋さんはいう。